

木造阿弥陀如来坐像

もくぞうあみだによらいざぞう

市指定

所在地：遠方



いわゆる上品の来迎印を結んだ阿弥陀像である。

穏やかでふくよかな面相、流れるような曲線を多用した衣文、胴部の肉どりなど平安時代後期の特徴をよく備えている。浄土信仰の浸透によって、繊細な和様化が進んだこの時期の作風を踏襲する優品である。

体部は内割りが施され、底板が像底にはめ込まれている。漆箔及び台座は後補である。

地方仏師の作品と見られるが、その優美さには目を見張るものがある。

阿弥陀堂所在。

像高85cm。